

つくばフォーラム2011

(豊かな未来へ 安心と信頼を築くアクセスネットワーク)

黒岩 正信
KUROIWA Masanobu

日本メックス㈱
本誌編集企画小委員長



つくばフォーラム2011のオープニングとなる基調講演と特別講演は、つくば市の国際会議場の大ホールをメイン会場として11月29日に開催されました。今年は東日本大震災の影響で例年より約1ヶ月遅れの開催となりました。

基調講演はNTTの宇治則孝代表取締役副社長(写真-1)が『NTTグループの最近の取り組み～グローバルICTカンパニーを目指して～』と題して、情報

通信の現況と中期経営戦略ならびにいくつかのトピックスについて講演されました。中期経営戦略の中では、海外事業の売上げが1年前倒しで100億USドルを達成しそうだという話が印象に残りました。グローバル化の進展に対応して、NTT-Gの社員の20%以上が海外で4.8万人になっているという数字にびっくりしました。また、日本のブロードバンド(光)は世界のトップ水準にあり、IP系収入が音声系収入を上回

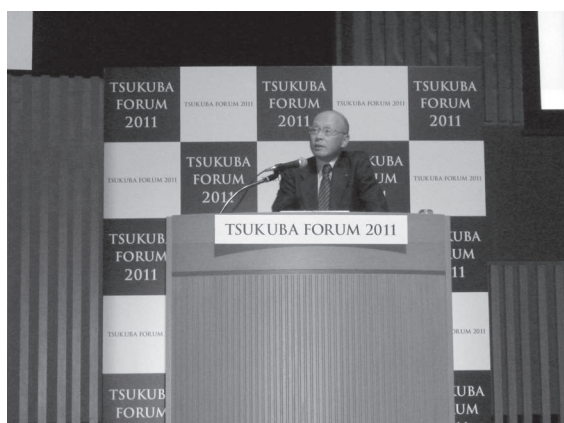


写真-1



写真-2

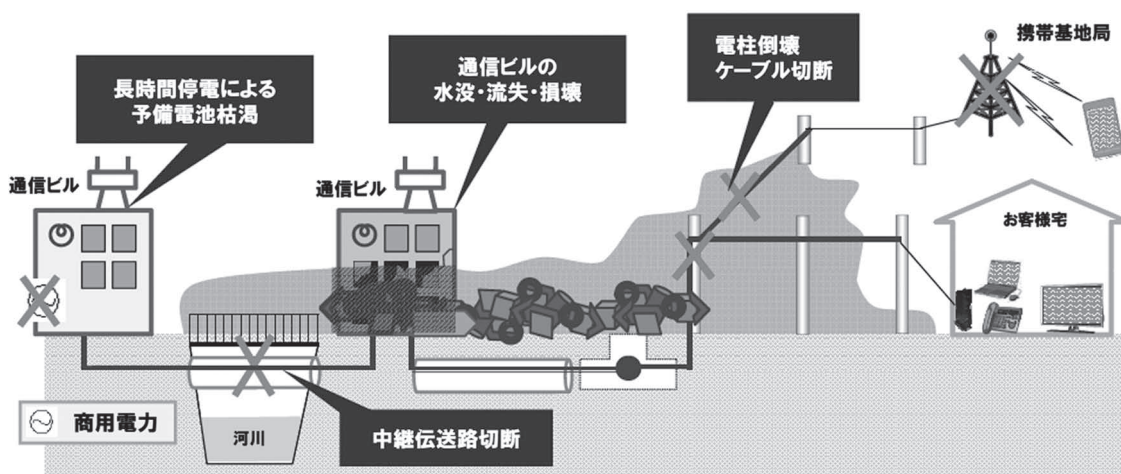


図-1 東日本大震災の被災状況(特別講演の資料から)

る見込みであることも説明されました。大震災対応では、衛星を利用した移動基地局の活躍と電話端末のニーズが多くなってきているということでした。大震災の話は特別講演で詳細に説明されました。最後に、サブタイトルにもなっている「日本の電話会社から世界のICTサービスカンパニーへ」というNTTのスローガンで締めくくられました。

特別講演はNTT東日本の山村雅之常務代表取締役(写真-2)が『東日本大震災を乗り越えて～お客様をつなぎ続けるために～』と題して、大震災を総括するいろんな取り組みの状況を講演されました。(図-1参照)今回の大震災は津波により、福島第一原発事故が起こり、商用電源が長期間回復しなかったためにサービスが停止したことが一つの特徴で、この反省による今後の対策が説明されました。特に、首都直下型地震を想定して、東京の重要ビルのサービス機能を維持するために、電力を確保する施策など具体的な内容が説明されました。また、津波による橋梁流失による

通信途絶を防ぐため、NTTが開発した推進工法エースモールによる河川下越しも計画されており、高台への通信ビル移転なども説明されました。また、社会的に問題になっている技術継承も本復旧業務を活用した若手技術者の育成計画を立てるなど多面的な取り組みが行われていることが良く分かりました。

アクセスサービスシステム研究所の展示会場でも、大震災の特別展示がなされており、説明をして頂きました。NTTの地下設備は過去の地震での教訓から管路部では写真-3のような伸縮継手などが標準化されているため大きな被害は無かったようですが、津波による地盤の洗掘などで橋梁添架際のマンホールが横転している写真などが展示されていました。管路の延命化のために開発した内面ライニング工法のライニング材が耐震性も有しているという展示があり、説明してもらいました。管路が離脱し写真-4のようにある程度の角度が付く状況になっても中のケーブルは保護されていることが確認されたそうです。(3000心収容の



写真-3



写真-4

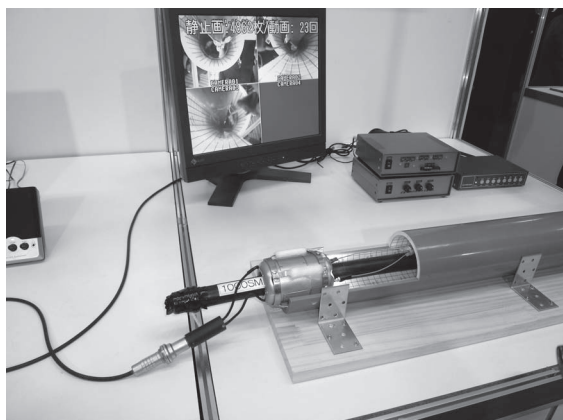


写真-5

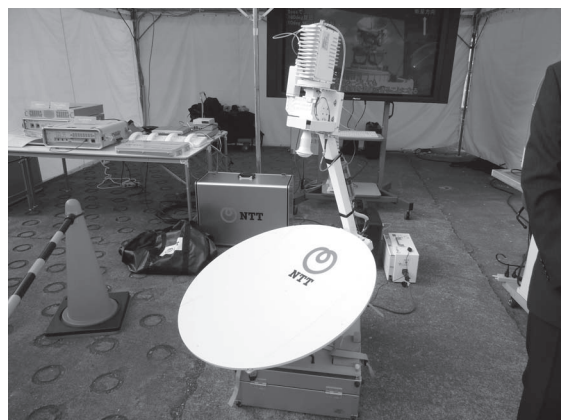


写真-6



写真-7



写真-8



写真-9

空間確保タイプ) 管路点検カメラもバッテリーの進歩で大きく形が変わって行きそうなプロトタイプが展示されていました。(写真-5) このプロトタイプでは光ファイバーで画像伝送していますが、将来的にはメモリに画像を記録できるようになると、カメラ本体だけを牽引すると調査ができる時代が来るかもしれないと思いました。基調講演でも触れられたアクセスサービスシステム研究所で開発した「災害対策用小型衛星通信地球局」対応の可搬型アンテナ(写真-6)と車載型アンテナ(写真-7)が展示され人が集まっていました。

マサル工業のブースでは、高所作業車周辺の感電事故防止用「接地マット」が展示されていました。(写

真-8) 土のあるところではアース棒を打ち込むことになっていますが、舗装道路しかない都市内でどうするのかという課題を解決したもので、L字側溝、U字側溝の蓋の上で使用することで、アース棒以上の性能が得られるという優れものです。5%の食塩水がその大役を果たしてくれるらしいので、乾燥させないようにする必要がありますようです。

今回のつくばフォーラムは、大震災の後、ということもあり、それに対応したお話や技術にフォーカスしたレポートになりましたが、まだまだご紹介したい技術も多数展示、説明されていて大変有意義な展示会であったと思います。この夏の節電を支えた太陽光パネルも展示会場横に敷設されていました。(写真-9)